

企業がキャリア教育に取り組む意義
企業にとって
教育現場にとって

大阪産業大学 非常勤講師
(前 株式会社テサント 企画開発部長)
赤松 茂

平成22年7月23日

テサントが参加した
キャリア疑似体験モデルの事例

ドリカムスクール
課題(テーマ)

オリンピックで話題騒然！
未来のスポーツウェアを開発しよう！

1. ブランドとマークを考えよう！
2. 競技を決めよう！
3. デザインを描こう！

ドリカムスクールの目標

- ① 考え抜く力
自ら課題を発見する力、課題を解決するために考え抜く力を育む。
- ② 前に踏み出す力
「正解がない」「答えが一つではない」取組みであっても、試行錯誤しながら、前に踏み出す意欲と行動力を育む。
- ③ チームワーク力
話し合いに積極的に参加し、自分の意見をはっきりと言い、友達の意見を理解しようとし、目標に向けて協力する力を育む。
- ④ 職業観・勤労観
日常生活や学校の中で果たすべき役割や、将来社会で仕事や職業などを通して果たすべき役割を理解し、その役割を果たそうとする態度・考え方を育む。
- ⑤ 「現在」と「未来」、「自分」と「社会」のつながり
現在の学校での勉強等が、将来どのように役立つか、また、自分と社会がどのように関係しているか知る。
- ⑥ その他
主体性、自信、自己改善力、表現力等を育む。

テサント授業で学んでもらう

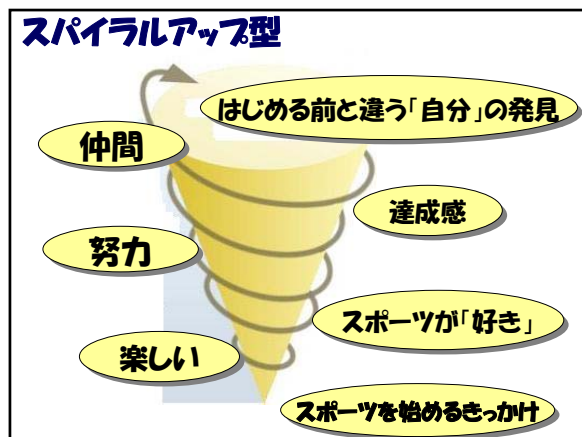
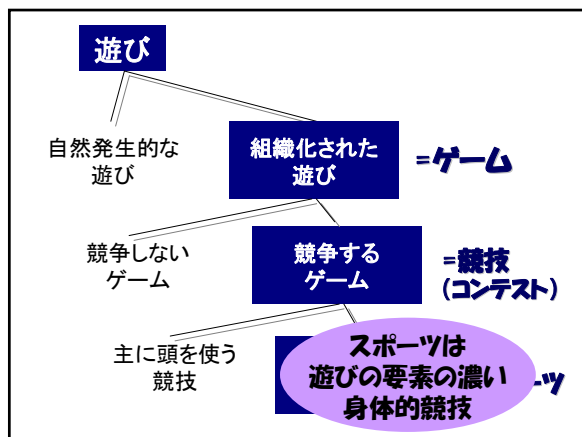
「**スポーツの意味**」
について
学びましょう

スポーツの語源

ラテン語のdeportareにさかのぼり、
「ある物を別の場所に運び去る」転じて、
「憂いを持ち去る」という語感から、

古フランス語のdesport

「**気晴らしをする、遊ぶ、楽しむ**」を経て、
現在のsportに至った。



スポーツマンシップ

ルールを遵守することの重要性や、フェアプレーや、相手を思いやることの必要性など、人間の尊厳についての理解に繋がる精神

**「ノーサイド」
NO SIDE**

**「グッドルーザー」
GOOD LOSER**

北陽高校 1日目

デサントの会社紹介とスポーツウェア開発の話

クイズ！
「ドイツ語で「スポーツ」」
A. ドイツ語で「スポーツ」
B. フランス語で「スポーツ」
C. スペイン語で「スポーツ」

北陽高校 2日目

オリンピック商品の開発の裏話
商品を実際に着用

北陽高校 最終日

各チームからの発表
デサント社員からの講評とアドバイス

追手門中学 2日目

グループワークによる
テーマ出し
デサント社員による
途中チェックとアドバイス



スポーツウェアの
機能素材を体験



行列のできる相談所

追手門中学 最終日

各チームからの発表
デサント社員から
作品へのアドバイス



各チームからの発表

追手門中学 最終作品

最優秀賞



プレゼン賞



アイデア賞



ドリカムスクール Academic

彩都西中学校 2009

ガンバ大阪との共催
橋本選手のトークを
交えたセッション。
デサントの企業紹介。
ブランド・商品紹介。



2クラスでミッションの
説明とグループ授業。
各チームからの発表
作品へのアドバイス
審査員は学校・ガンバ
デサント。





デサント社員2名 営業部からの初参加で
生徒からの感謝色紙をいただき大感激。

2009ドリカムスクールふいかえり

<参加した部署 参加者の意見>

1. 講師になってみて

- 中学生が主役の活動に、自分たちがいかに役立てるかという視点で
かわり、限られた時間の中で最善の授業構成にでき、充実感と
達成感を感じる。
- 入社3年目、自分の仕事に疑問を持ち始めるとき参加して、
自分の仕事がいかに誇りを持てるようになり、モチベーションアップ
になった。
- 社内研修にない、緊張感と責任感があり、「失礼の無いように」
「いかに相手のことを考えてわかりやすく伝えるか」という意味で、
プレゼンテーション力が高まると思う。

2. 人事として

- 社内研修が主体で行なってきたが、今後「外に出て行く研修」
「体験型の研修」を増やして行きたい。
- 社会貢献方の人事研修が増えてきている。参加する社員がアウトプット
することで学ぶというスタイルもよい。

3. CSR室として

- 今回のような取り組みは、HPで紹介したい。紹介する以上、
継続して実施して行きたい。若い社員にどんどん参加してほしい。
- 事前アンケートで、予想外にデサントのことを知らない生徒が多い。
より広く知ってもらう機会になる。

<今後の課題>

- 所属部署の反応が、飲み会の席でも話が出るなど、上司の理解があつて
やりやすかった。「会社もいろいろやってるな」と冷めた眼で
モチベーションが下がった。
- 仕事外の取り組みという認識で入ったため、授業づくりのミーティングも
業務の後で、時間的な負担が大きかった。
- 人事として、研修の狙いや目標について、より明確にし、担当部署の
コンセンサスをはかる必要がある。
- 今回のようなガンバとの連携のような注目を引くきっかけを作れるか？
- 駅伝のように、リレー形式で行なうのが良いのではないかな。
- 入社年度別研修に組み込むという考えもある。

<今後の発信>

- デサントHPでの紹介。
- ケーブルテレビのガンバさんの番組(ガンバEX)の映像の活用。
- 社長朝礼での社内広報。

1. 消費者の本音を聞く機会

キャリア教育を通じて、子ども達に「仕事」や「会社、商品」を伝え、共に活動する中で、**子ども達が消費者の立場として感じる本音を自然と耳にすることができる。**



2. これからのデサントを担う若手リーダーが デサントの商品価値に気づく機会

「前提知識のない」、「嘘をつけない」子ども達に対して、
仕事や商品について整理して伝える中で、
自社に対する見方や自社商品の良さを改めて見つめ直し、価値に気づく。



3. デサントについて社会に発信する機会 (企業の社会的責任)

デサントについて、

「キャリア教育に携わっていること」

を切り口に消費者や取引先に発信できる。

また、授業を受けた子どもや教員の感想や目線から、デサントを伝えることができる。



社会貢献活動

第53回定時株主総会 事業報告 抜粋

社会貢献活動としては、恒例イベントとして「すこやかキッズスポーツ塾」の開催、「第13回白ロードレース2010」の特別協賛、「オックスファムトレイルウォーカー・ジャパン」、「第19回全国盲ろう者大会」への協賛を行ないました。また課外授業への取り組みとして、NPO法人日本教育開発協会が運営する「ドリカムスクール」、大阪商工会議所実施の「理科大好き'むにわっ子'育成事業」に参画しました。

生徒たち 学校側の手ごたえ

生徒たちの表情の変化

かたかった表情 ⇒ 生き生きとした表情へ！

グループごと自然に役割分担が行なわれた。

個 ⇒ チーム へ！（スポーツでもいえること）

※ 日頃少ないチームで行なう教育の機会となった。

問題解決型授業の実施のなかで

生徒たちの吸収力と可能性が発揮。

<先生方より>

思っていた以上に生徒たちの頑張りで良い発表ができた。

実際にやってみてこのような機会はとても良かったと感じる。

2006年 北陽高校
(運営)企画開発室

※参加範囲の拡大

2007年 西淀中学 追手門中学
(運営)企画開発室 広報担当

2008年 立命館初芝中学 加美南中学
(運営)企画開発室 広報担当
人事課 デサントアパレル

2009年 彩都西中学
(運営)企画開発室 広報担当 人事課 CSR室
営業部 共催 ガンバ大阪

企業のマーケティングモデル事例

企業のマーケティングモデル事例1 「デサント キッズスポーツ教室」

2004年より夏・冬の年2回開催

7月31日(金)から8月2日(日)の3日間

2009年はリゾートイン磐梯に宿泊し、2泊3日の間に、テニス、ゴルフ、カヤック等の体験の他、星空観察や英語教室など、様々なプログラムを実施。



ゲストコーチに元全日本チャンピオン・デビスカップ代表選手で、2002年釜山アジア大会で日本代表チームの監督白石正三氏

企業のマーケティングモデル事例2

「すこやかキッズ スポーツ塾」

小学生を一堂に会して複数の種目を行う「一日スポーツ塾」と、講師の先生を直接学校に派遣する「出前教室」の2部構成になっており、4年目



出前教室実施校

大阪市立生野小学校 (対象: 全校生 274名)
大阪市立淡路小学校 (対象: 5,6年生 87名)
大阪市神路小学校 (対象: 5,6年生 159名)
大阪市立玉造小学校 (対象: 3,4年生 125名)
大阪市立桜宮小学校 (対象: 5,6年生 137名)

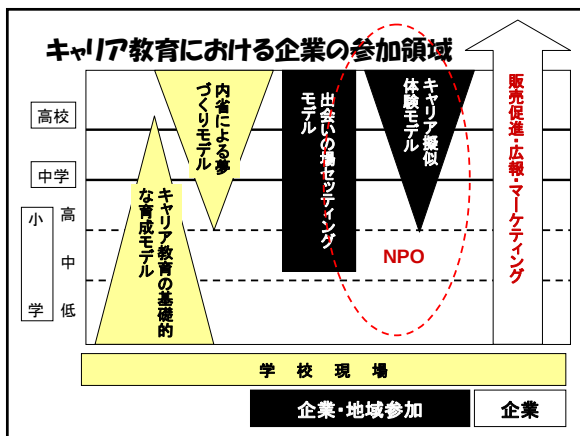
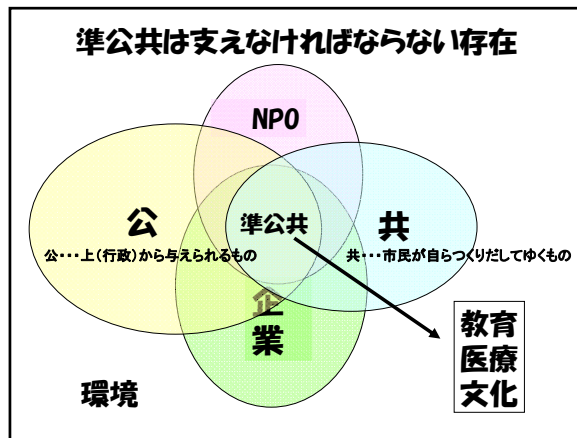


田中光氏(アトランタオリンピック体操日本代表)が講師

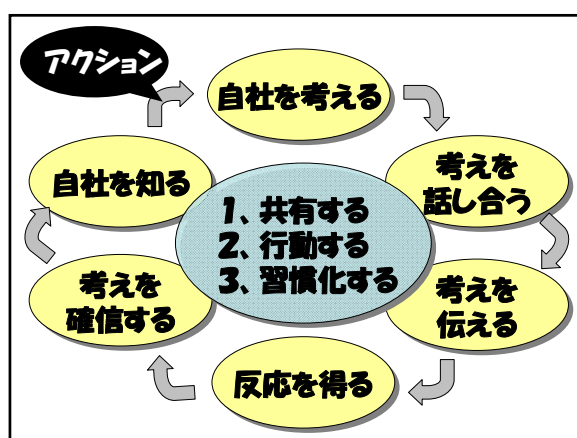
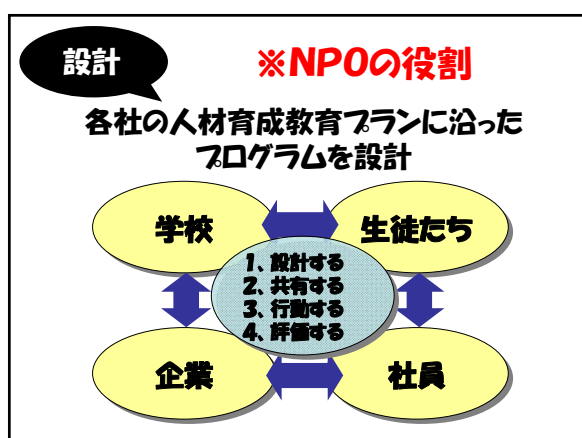
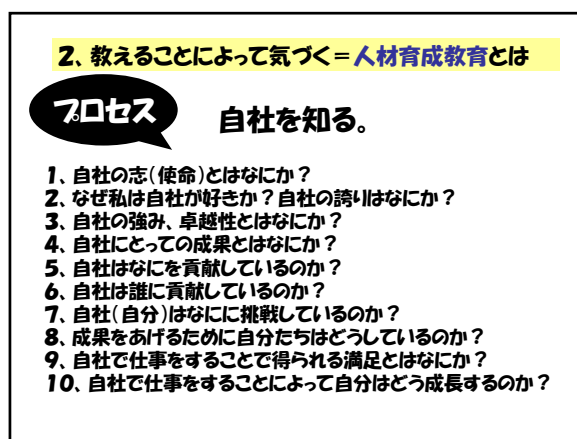
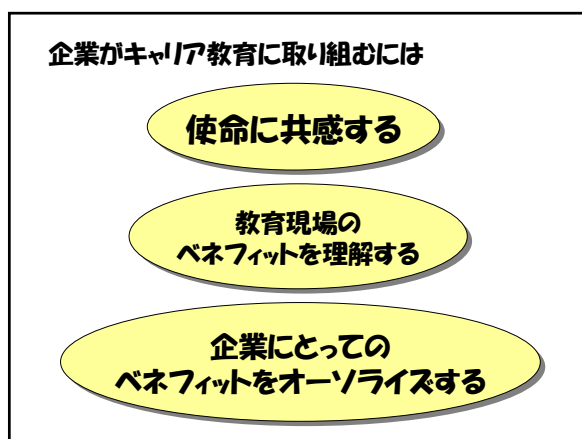
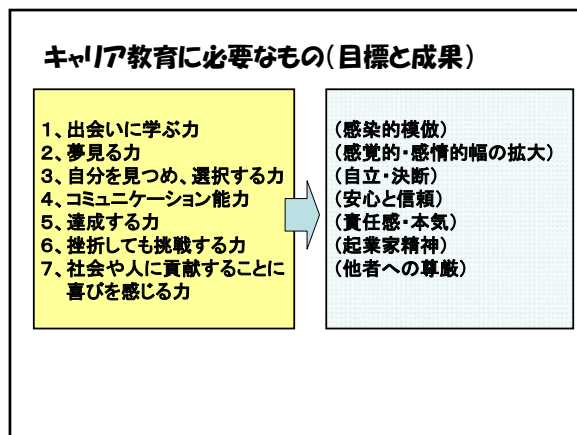
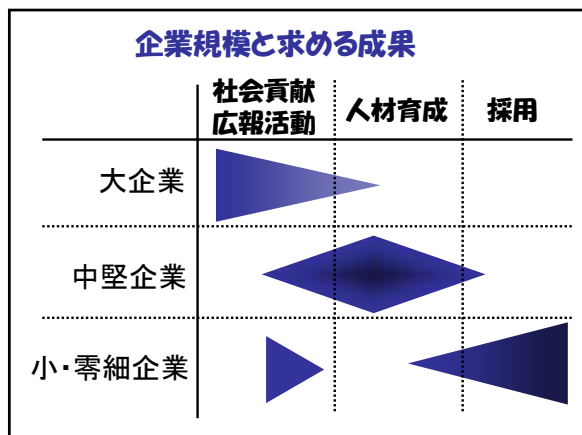
デサント キッズスポーツ教室 第1回：2005年▲月に「日本エアロビクスセンター」にて夏の教室を開催。 第2回：2006年1月に「志賀高原（長野県）」にて冬の教室を開催。 第3回：2006年▲月に「日本エアロビクスセンター」にて夏の教室を開催。 第4回：2007年3月に「アルツึึึึึึึึึึ（福島県）」にて夏の教室を開催。 第5回：2007年▲月に「日本エアロビクスセンター」にて夏の教室を開催。 第6回以降（現、第12回まで）、夏と共に「アルツึึึึึึึึึึ（福島県）」にて開催。 子ども達に「身体を動かす喜び」を体験する機会を提供し、スポーツに親しみ習慣を身につけてもらおうと共に、参加者の保護者の方々を含め、企業「デサント」を認知していただき、現在・将来の購買動機につなげること。 夏の教室：小学校の夏休み期間中（7月下旬～8月末） 冬の教室：小学校の冬休み期間中（3月末） ※今年度の開催日程は未定 アルツึึึึึึึึึึ（福島県） 募集対象：人数、都内近郊在住の小学生40名（応募者多数の場合は抽選） 夏の教室：テニス・ゴルフ・カッパチ・むかし遊びの運動会・星空間教室・英会話教室・ゲーム大会・プールなど 冬の教室：スキー教室・スノーボード教室・レース大会・ハン作り教室・英会話教室・ゲーム大会など

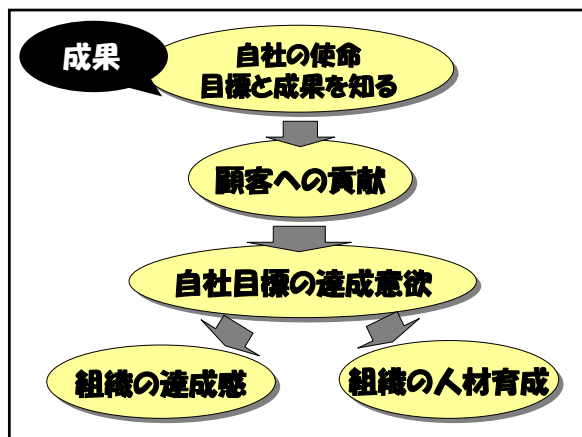
すこやかキッズスポーツ塾 2006年度に主催：讀賣新聞社・共催：デサント・SAVAS（明治製菓）・後援：文部科学省・開催都市各自治体で第1回を開催。2007年度からは、主催：デサント・後援：讀賣新聞社・文部科学省・開催都市各自治体という形で実施。 文化・教養・スポーツ振興目的。 スポーツを通じて、連携・連帯・達成感などの実体験の機会と、親子コミュニケーションの場を提供し、情感豊かな子どもを育て、将来的に非行少年をなくす社会貢献活動の一環とする。 そして、将来のデサントファンを増やし、購買動機につなげる。 2010年4月から2011年3月までの1年間 全国主要都市（東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡） 【一日スポーツ塾】 サッカー・バレーボール・水泳・バスケットボール・体操などの種目を選択してもらい、元オリンピック選手などの指導を受ける。 【学校訪問・出前教室】 全国主要都市の教育委員会と連携し、小学校の体育の時間の特別授業と位置づけ、主に田中光氏（元五輪種目代表選手）が講師となって小学生を指導する。 ※参加費：無料 後援：文部科学省、開催都市自治体及び教育委員会 協力：スペシャルオリンピックス日本、トータル・オリンピック・ディエス・教育、学研、MXテレビ、Hogrel
--

企業が行なうキャリア教育



- # キャリア教育における企業のベネフィット
- 1、企業の**社会的貢献活動**としての側面
 - 2、教えることによって気づく＝**人材育成教育**としての側面（自社の価値、卓越性など）
 - 3、自社（自社製品）を知ってもらうという**広報活動**としての側面
 - 4、エンドユーザーとのダイレクトコミュニケーションという**マーケティング**的側面





※NPOの役割

NPOのミッションは社会や人間のあり方に
関わり、それを変革すること。
アントンフレンナーシップに基づき
人間的な絆やコミュニティの再生に
チャレンジすること。
誰のための貢献か？が起点(主役は子供達)
公・共・企業に働きかけ、それぞれにとって
のバリューイノベーションを設計し、
実現させること。